

船形コロニー整備事業に係る追加説明資料

- ・ 大規模事業評価調書（抜粋）
- ・ 参考資料

平成28年8月25日（木）
保健福祉部 障害福祉課

	<p>○ 県立施設としての役割を引き続き果たし、入所利用者や在宅の障害者に対して最も望ましい支援を提供できると判断したことから、本事業を実施するものである。</p> <p>【期待される効果】</p> <p>○ 入所利用者の日常生活の向上や日中活動の充実、プライバシーの確保が図られる。</p> <p>○ 高齢化や障害の重度化など、入所者一人ひとりの障害特性や状態に合わせた生活環境の提供が可能となる。</p> <p>○ 支援体制を再構築することにより、入所・通所する利用者に対して良質な支援を提供することができる。</p> <p>○ 新たな機能（研修・研究機能、福祉避難所機能等）の付加により、県立施設としてのセンター機能（セーフティネット・バックアップ・コーディネート）の充実が図られる。</p>
これまでの取組状況	<p>平成26年度 県立障害児者入所施設のあり方検討会 平成27年度 船形コロニー施設整備検討会 平成28年度 基本構想策定</p> <p>《附属資料3 県立障害児者入所施設のあり方検討会報告書》 《附属資料4 船形コロニー施設整備検討会報告書》</p>
今後のスケジュール	<p>平成28年度 大規模事業評価，設計者の選定 平成29年度 基本設計，実施設計（一部） 平成30～33年度 実施設計（段階的に実施） 平成31～34年度 建設工事（段階的に実施） 平成32年度 一部供用開始（新居住棟） 供用開始予定 平成35年10月</p>

II 事業内容

用地関係	予定地	黒川郡大和町吉田字上童子沢21
	用地確保の状況	<p>用地の確保 <input checked="" type="checkbox"/>済・未</p> <p>造成面積 — m²</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>県有地・民有地買上・民有地借り上げ・()</p>
	敷地面積	466,603.24m ²
	規制の状況	<p>規制区域</p> <p>用途：市街化調整区域</p> <p>建ぺい率：70%</p> <p>容積率：200%</p> <p>その他：なし</p>
建設関係	事業規模	<p>新設：居住棟，附属建物（活動，給食，事務管理） 計16,350m² 構造：鉄筋コンクリート造，<input checked="" type="checkbox"/>又は鉄骨造，<input checked="" type="checkbox"/>又は木造， <input checked="" type="checkbox"/>又は混構造</p> <p>改修：とがくら園，体育館 計4,882m²</p> <p>解体：居住棟，附属棟 ほか 計13,109m²</p>

		全体延べ床面積：34,341㎡ 整備敷地面積：約38,000㎡
--	--	------------------------------------

Ⅲ 事業費

建設費 A	調査費（地質調査費，測量費）	49百万円
	設計費	323百万円
	工事費	8,770百万円
	その他（工事監理費等）	133百万円
	（設備・備品費等）	167百万円
	合計	9,442百万円
	【財源内訳】	
	起債	7,553百万円
	社会福祉施設整備事業債（充当率 80%）	
	一般財源	1,889百万円
	合計	9,442百万円
維持管理費 B	40年間の維持管理費の累計 〈建設後の施設の利用を平成35年～平成74年の40年間と想定〉	
	人的経費	51,852百万円
	修繕・補修関係経費	1,043百万円
	運営・管理経費	13,557百万円
	合計	66,452百万円
	【財源内訳】	
	給付費等	49,728百万円
	一般財源	16,724百万円
	合計	66,452百万円
合計 A+B		75,894百万円
	※建設費及び維持管理費は現時点での最大費用であり，設計段階において，施設のライフサイクルコスト及び効率的な施設運営の視点に配慮し，コスト縮減に努める。	

Ⅳ 評価結果

行政活動の評価に関する条例施行規則（平成14年規則第26号）第17条第1項各号に規定する基準等に基づく評価結果は，次のとおりである。

1 事業が社会経済情勢から見て必要であるかどうか。（第1号関係）

<p>（社会経済情勢から見た必要性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 船形コロニーは，民間では受け入れが困難である重度・最重度の知的障害者の受け皿として，県全域におけるセーフティネットの役割を果たしてきた。 ○ これまで地域生活移行が一定程度進んだところであるが，現在の入所利用者の殆どが重度・最重度の障害者であること，高齢化や障害の重度化に対応したグループホーム等の整
--

	【財源内訳】 起債 7, 5 5 3 百万円 社会福祉施設整備事業債（充当率 8 0 %） 一般財源 1, 8 8 9 百万円 合 計 9, 4 4 2 百万円
維持管理費 B (再掲)	4 0 年間の維持管理費の累計 〈建設後の施設の利用を平成 3 5 年～平成 7 4 年の 4 0 年間と想定〉 人的経費 5 1, 8 5 2 百万円 修繕・補修関係経費 1, 0 4 3 百万円 運営・管理経費 1 3, 5 5 7 百万円 合 計 6 6, 4 5 2 百万円
	【財源内訳】 給付費等 4 9, 7 2 8 百万円 一般財源 1 6, 7 2 4 百万円 合 計 6 6, 4 5 2 百万円
合計 A + B (再掲)	7 5, 8 9 4 百万円 ※建設費及び維持管理費は現時点での最大費用であり，設計段階において，施設のライフサイクルコスト及び効率的な施設運営の視点に配慮し，コスト縮減に努める。
投入職員数	①平成 2 9 年度～平成 3 0 年度（基本・実施設計等） 延べ 2 8 8 人（3 人×4 日×2 4 月） 障害福祉課職員が，関係課室，船形コロニー，設計事務所等との打合せを月に 4 回程度行う。 ②平成 3 1 年度～平成 3 5 年度（建設工事等） 延べ 7 2 0 人（3 人×4 日×6 0 月） 障害福祉課職員が，関係課室，船形コロニー，工事監理者及び工事請負業者等との打合せを月に 4 回程度行う。

以上のとおり，船形コロニー整備事業について県が評価を行った結果，事業の実施は適切と判断した。

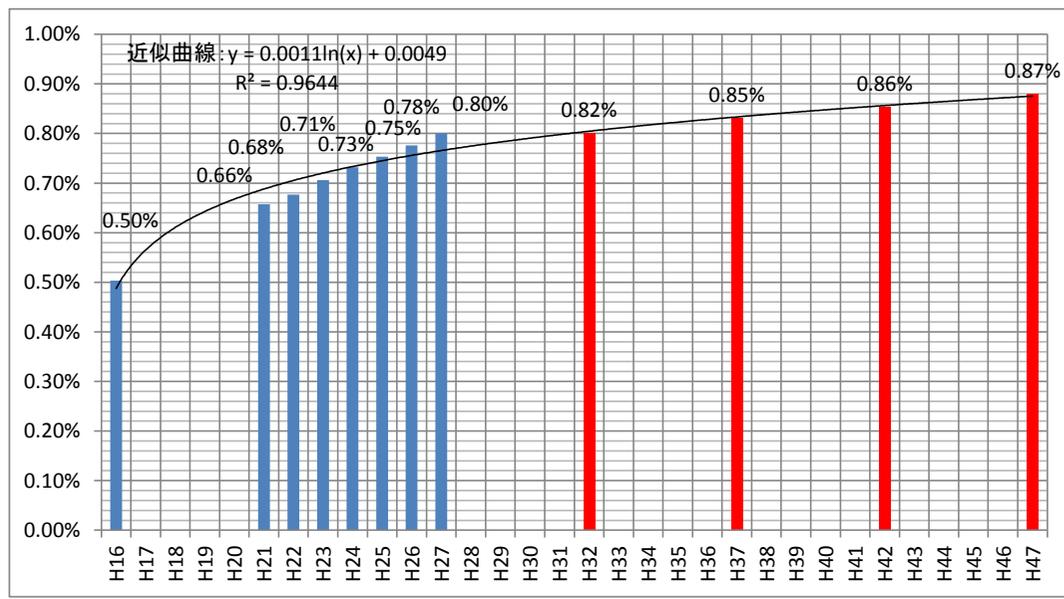
【宮城県】障害者人口推計(予測)

(人)

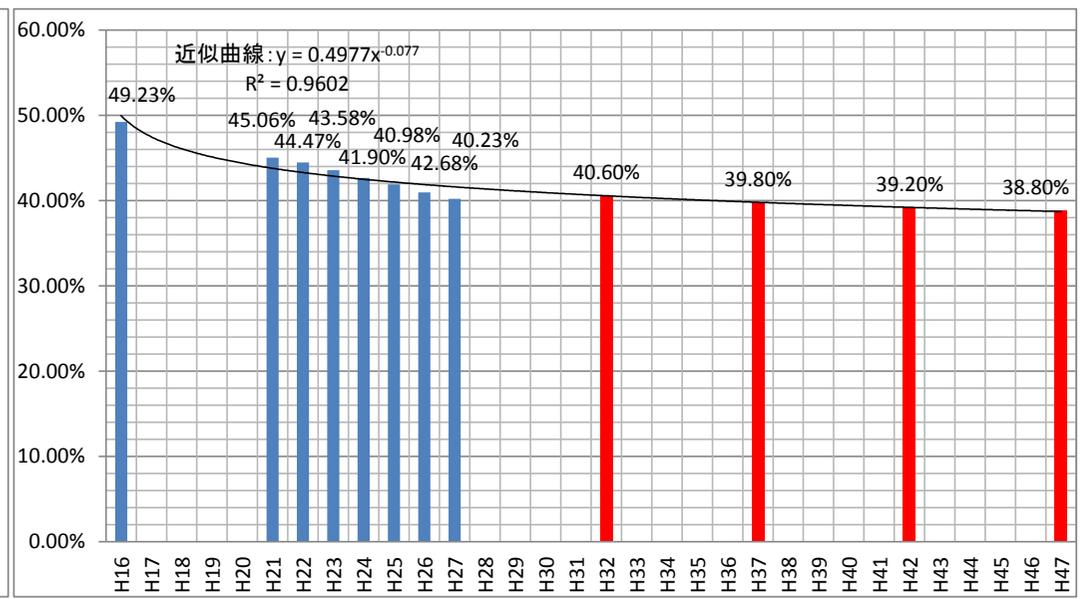
内訳	H16年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H32年度	H37年度	H42年度	H47年度
県人口(①)	2,370,985	2,340,029	2,348,165	2,323,224	2,325,407	2,328,143	2,327,993	2,324,683	2,231,000	2,158,000	2,074,000	1,982,000
(対前回増減数)	-	-30,956	8,136	-24,941	2,183	2,736	-150	-3,310	-93,683	-73,000	-84,000	-92,000
(H16年度基準)	100.00%	98.69%	99.04%	97.99%	98.08%	98.19%	98.19%	98.05%	94.10%	91.02%	87.47%	83.59%
療育手帳(②)	11,939	15,382	15,888	16,399	17,014	17,531	18,067	18,614	18,217	18,256	17,910	17,267
(対前回増減数)	-	3,443	506	511	615	517	536	547	-397	39	-346	-643
(H16年度基準)	100.00%	128.84%	133.08%	137.36%	142.51%	146.84%	151.33%	155.91%	152.58%	152.91%	150.01%	144.63%
(県人口割合=②/①)	0.50%	0.66%	0.68%	0.71%	0.73%	0.75%	0.78%	0.80%	0.82%	0.85%	0.86%	0.87%
うち、重度(③)	5,877	6,931	7,066	7,147	7,261	7,346	7,403	7,489	7,396	7,265	7,020	6,699
(対前回増減数)	-	1,054	135	81	114	85	57	86	-93	-131	-245	-321
(H16年度基準)	100.00%	117.93%	120.23%	121.61%	123.55%	125.00%	125.97%	127.43%	125.85%	123.62%	119.45%	113.99%
(うち、占有割合=③/②)	49.20%	45.10%	44.47%	43.58%	42.68%	41.90%	40.98%	40.23%	40.60%	39.80%	39.20%	38.80%
(県人口割合=③/①)	0.25%	0.30%	0.30%	0.31%	0.31%	0.32%	0.32%	0.32%	0.33%	0.34%	0.34%	0.34%

(各データベース元) ○県人口：過去データは、国勢調査及び県統計課資料「住民基本台帳」より。将来推計は、国立社会保障・人口問題研究所より。
○各手帳の保持者数は、県保健福祉部障害福祉課及び仙台市資料より。

(根拠：算定方法) ○平成16年～27年までの県人口の推移と療育手帳発行数の割合の推移を近似曲線で算出
→将来の療育手帳発行数の割合を求め、県の将来人口に掛け、療育手帳発行者数を算出
○療育手帳発行者数に対する重度者数の割合の推移を近似曲線で算出
→将来の重度者数の割合を算出し、療育手帳発行者数に掛け、重度者数を算出

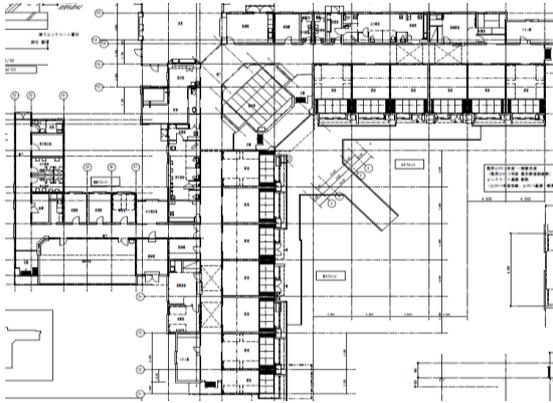


県人口(①)に対する療育手帳発行数(②)の割合(%)



療育手帳発行数(②)に対する重度者数(③)の割合(%)

【船形コロニー整備事業】に係る
建替え・整備によって主に改善（レベルアップ）される具体的事例

現況	整備後（イメージ）
<p>①居室 〔相部屋〕</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーが確保しにくい。 ・一人ひとりの障害特性や状態に対応しにくい。 	<p>〔個室〕</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・入所利用者の好みの空間を創出することにより精神的な安定等に資する。
<p>②日中活動 〔(全居住棟) 例：かまくら園〕</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・建物内外に日中の活動スペースが無い ため、メリハリに乏しい。 ・地域移行に向けた活動や体力維持などの活動が取りにくい。 	<p>〔強度行動障害者用〕</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・別棟にすることにより気持ちの切り替えが可能 ・入所利用者の精神安定につながる ・国の施策と合致 (生活の場と日中活動の場の分離)
<p>③拡充される機能</p> <p>県全域の障害福祉拠点として、次のようなコーディネート機能等を拡充する予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の蓄積・共有・発信 ・地域住民との連携・交流 ・災害時の支援 など 	<p>〔参考 他県の事例〕</p> <p>【あげお（埼玉県）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「多目的室」の新設：外部・内部研修、地域住民への貸出し等に活用 ・「交流スペース」の新設：学生・ボランティア・家族等の受入れ等に活用 <p>【西駒郷（長野県）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自活訓練棟会館（宿泊所）」の新設：地域移行訓練、学生・ボランティア・家族等の受入れ等に活用